

# 冷戦後の経済再建を論議

〔日本影〕冷戦後の日本と世界、その現状と将来の動向について、具体的な政策を論議する。世界六ヵ国議長が参加する開会式と閉会式で、F.W.P.・文鮮明総理が主催の第一回世界和平會議は、(三月の)一十八日前、「市場経済」と「社民主義の理想」という二大論議で、冷戦後の経済再建について議論した。その後の、午後から「世界むけた地球環境復元」を主題に、イスラム教徒をはじめ、世界平和の維持促進に不可欠な資源保護の枠組みを通じて開催された。午前のセッションでは、まず「英米首相が基調演説を行い、英国での市場

経済の発展と問題提起を披瀝して開闢した。このあと、  
討論で大いに、場外主義経営の利害と限界、また社会  
義が自指した形態と、それが内包していた問題点として、そ  
して旧ソ連からの参加者が、中心に活潑な論議が交わ  
れた。国際的に関連記事が報じられた。  
午後の会議では、スコット・カナダビラ、トリア、レーヴィー、  
合EES研究所所長がスライドを用いて、エネルギー資源の変遷と、  
その政策のあり方について、現行エネルギー政策の見直し方針を詳  
細に説明した。またモラルは、元ペルー大統領、ハン  
ソン・カナダ国際持続发展研究所会長が基調講演文を表、これらをたたき台に、球環境保護について真剣

ゴルバチョフ氏  
第

# 一線復

## 政治活動 続けてきた全

# 帰に前

の由縁を調査する「虚偽の話題」と、振り、政治は實業もいた偽情報を立回してくる。この認識を元た。(曰)連大統領時代に朝鮮開港権を支援したかとの質問には、「大統領時代にほんが國でも朝鮮開港権を決定してはおなまえを強く否定了。

最近のロシア情勢については、「急進的な改革を漸進的な改革を度外視することによって経済が破壊的、ロシアになつて「一難な時期を迎えている」断言。ゴルバチョフ氏は政府の二年間で「市場の要素が浸透して発展するのは事実」としながら現政府の改革遂行能力を「評価」、「ロシアの政治改革が成功するかどうかが政治をどのようにするかが重要」と新政治勢力頭領の必要性を唆した。

が、政治活動も確実に進んでいた。現在、政府の地位は確実に強化されたが、ロシヤの影響はまだ、それほど多くはない。第一線復帰に含みをもつた。

## キルギス 共和国首相

# 人類一家族も可能 アジアハイウェー構想評議

見方を示した。農業、産業の民営化が進行しているほか、インフレの沈静化に成功していないともつけ加えられた。されば、「コルバチヨフ」の如きは、開会式の基調演説で述べたように、普遍的価値体系による世界的な連合組織による連邦としての運営を主張する。この方法で他の国々をもつて連合組織を構成する。この方法で他の国々をもつて連合組織を構成する。

何を申すかセ族

# 世界平和會議第2回

同日の夕食会では、キルギスタン共和国のアパス・ジュマグノ夫首相が講演。

的高 唱したアジア・ハイウエー「う」と訴えた。構想は素晴らしい、この構

100



# 第一線復帰に前向き

-404-